

FirstGlobal メッセージ

siesta

2014.8月号 vol.134

*シエスタとは、スペイン語で『昼寝』の意味です。

リラックスしながらお読み下さい。

発行元：〒540-0012

大阪府中央区谷町1-6-4

天満橋八千代ビル10階

(株)ファーストグローバルコンサルティング

代表取締役

戦略人事コンサルタント 品川典久

TEL 06-6910-3007 FAX 06-6910-3008

Email shinagawa@1gc.jp

URL <http://www.1gc.jp>

今月のトピックス

選手起用

サッカーのW杯ブラジル大会で日本はグループリーグ敗退に終わりました。今回の代表は「史上最強」といわれていましたが、二敗一分けと一勝もできず。悪い予感は当たってしまいましたが、8年前の中田英寿さんらの「黄金世代」といわれた代表が出たドイツ大会も、初戦で、先制しながらオーストラリアに最後の最後に立て続けに失点し敗れ、そのまま一勝もできずに終わってしまった流れと全く同じになってしまいました。奇しくも、前回の最終戦もブラジルに、今回はコロンビアに同じ1-4のスコアで敗れました。ちなみに日本のFIFAランキングは46位で、グループ内では最下位でした。よく、その順位は実態と違う、日本はもっと上でもおかしくないと言われましたが、やはり実態をよく表しているのだと思います。初戦に敗れて一次リーグを突破する確率は過去の例から7%であると。可能性はゼロではないと言われましたが、データは如実ですね。短期決戦は怖いです。ちょっとしたきっかけで歯車が崩れると、立て直す時間は残されていません。選手がインタビューで気持ちや団結力を強調していましたが、相手となる世界の一流はそんなに甘くないでしょう。サッカーのド素人が批判を恐れずに申し上げると、敗因は監督の初戦の選手起用だったと思います。攻めて攻めてと言いながら直前の強化試合で先制される展開が続き、慎重になったのか、守りに強い選手を先発させ、攻め重視の選手起用ではありませんでした。そして不幸な？ことに前半に先制してしまい、守りに徹するかと思いきや、相手がドログバというエースが投入したあとも、守るのか攻めるのか、選手が迷う中途半端な状態の中、立て続けにゴールを許し、逆転負け、これが最後までずっと尾を引いたように見受けました。これも結果論でしょうが。ただ、部下はトップをよく見えています。組織では、特にここ一番は言葉だけでなく、トップの意図を明確に示す必要性を感じた大会でした。成功するかどうか確信がなくても。とにかく、日本はその辺までしっかりこなした上で戦わないと勝てないぐらいの実力差がまだまだ世界とありますな。

< next >

北海道日本ハムの大谷翔平投手（選手？）には底知れぬポテンシャル（潜在能力）を感じますね。今のうちにどんどん能力を上げて、数年後に海外に渡るときには、はたしてナンボの年俵をもらう状態になっているのか、とても興味深いです。